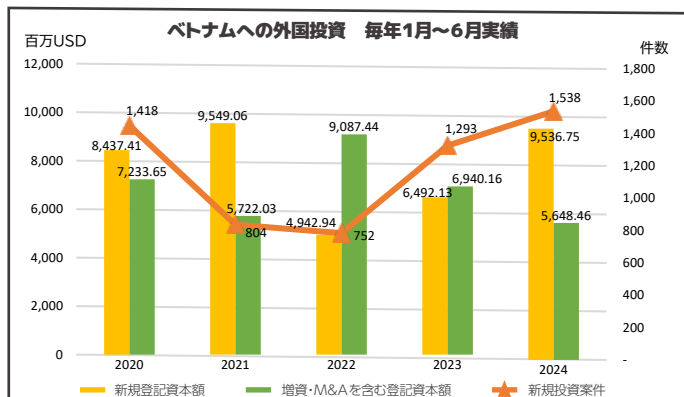


## 外国投資動向と首都ハノイ周辺の新たな交通インフラ計画 (神戸製鋼所初のベトナム生産拠点開所式)

ハノイデスク 中川 良一

### 1 外国投資の状況

2021年より落ち込んでいたベトナムへの新規外国投資案件ですが、2024年までに順調に回復してきています。新規登録プロジェクトの件数は1,538件で2023年同期比245件の増加、総投資額は95億3,675万USDで、前年同期比46.9%となりました。



出典：ベトナム計画投資省（ハノイデスクにて集計・グラフ化）

計画投資省によると、大型投資では、半導体・エネルギー（バッテリー、太陽電池セル、単結晶シリコンロッド）、電子部品・電子製品分野への進出が多くなっています。

また主な投資国は中国、シンガポール、香港、日本、台湾、韓国など、昔ながらのベトナム投資上位国が占めていますが、過去上位1位か2位であった日本は、新規件数と投資額共に4位まで落ち込んでいます。

特に注目されているのは中国からの新規投資ですが、投資件数ベース447件で第1位であり、2位のシンガポール220件の倍以上と急激な進出件数増加が際立っています。

投資分野別での状況を見ると、製造分野への新規登録投資額が全体の投資額の71.6%を占め、次いで不動産分野が19.9%を占めています。

また既存の外資系企業の投資額に於いても、製造分野への投資額が35億9,999万USDとなり最も多くなっています。

新規投資案件の件数ベースでの分野別順位は、製造が第1位（541件）、卸売り・小売り・自動車オートバイ修理が第2位（539件）となっています。

### 2 神戸製鋼所初の製造分野での投資案件

日本からの投資は落ち込んでいますが、この中で神戸製鋼所初のベトナムでの製造プロジェクトである KOBELCO Copper Alloy Vietnam Co.,LTD（金属ストリップの生産工場、投資額24億円）の開所式が、7月13日首都ハノイに隣接するハナム省ドンバン3工業団地で行われました。

同社において、自動車の電動化により今後急速に需要が伸びると見込まれる「自動車用配線材向け銅コネクタ材」を製造するプロジェクトが進められます。

ハナム省と兵庫県・神戸市は2016年に経済交流に関する共同声明に署名しました。



KOBELCO Copper Alloy Vietnam Co.,LTD 開所式 (著者撮影)

これを受け、公益財団法人ひょうご産業活性化センターとハナム省ドンバン3工業団地は、進出する県内企業への優遇条件を取り纏めた覚書を締結、現在8社の兵庫県企業がハナム省に生産拠点を設置しています。

開所式にはハナム省のチョン コック フィー知事が参列され、「神戸製鋼所プロジェクトへの継続的な支援と、兵庫県・神戸市との相互協力関係をさらに強化していきたい」とのスピーチがありました。

### 3 ハノイ周辺の交通インフラ計画

ハノイ市の人口は、現在約859万人ですが、今後2045年には1,115万人～1,450万人、現在の1.5倍増加すると見込まれています。そのためハノイ周辺では年々渋滞が激しくなっています。ハノイ市では公共交通手段の拡充と多様化により、個人所有車両による交通手段利用率を現在の81.5%から35%へ減少させる方針です。そのために鉄道路線の拡大と、道路整備を伴うバス路線の拡充が必須となります。都市鉄道については、14路線全長585kmを2035年までに完成させる必要があると、ベトナム政治部がレポートしています。

しかし現状、最初の都市鉄道の着工から14年間経過し、営業運転を開始出来た路線は1路線で、2A号線全長13kmのみとなっています。



出典：ハナム省キンバン工業団地資料（ハノイデスクにて調整）

その他、年内に営業運転開始が見込まれる路線として3号線的全長8.5kmがあり、二路線の合計は21.5kmとなります。2035年まで10年で残り560kmをいかに完成させるのか、紆余曲折が予測されます。道路整備ではハノイ市周辺環状道路には、環状1号線・2号線・3号線・4号線・5号線、そして補助環状線2.5号線・3.5号線の7路線で構成され、全長285.46kmとなります。特に環状4号線と5号線はハノイ市内の交通負荷を低減させる他、周辺自治体間の産業、経済発展にも大きな役割を果たすと見込まれています。環状4号は、2027年から運用が開始される予定で、幅員120メートル6車線の路線で、制限時速は100kmとなります。環状5号線は、2030年に完成予定であり、8省36地区の都市を通過します。また道路整備と同時にバス路線も拡充すると共に、2035年までにハノイ市内全てのバスをEVとCNGを含むクリーンエネルギーバスに置換える予定です。

ひょうご海外ビジネスセンターは、世界10カ所に海外展開現地相談窓口として「ひょうご国際ビジネスサポートデスク」を設置しています。本通信は、毎月1回、各デスクから寄せられる現地トピックスを順にお届けするものです。